

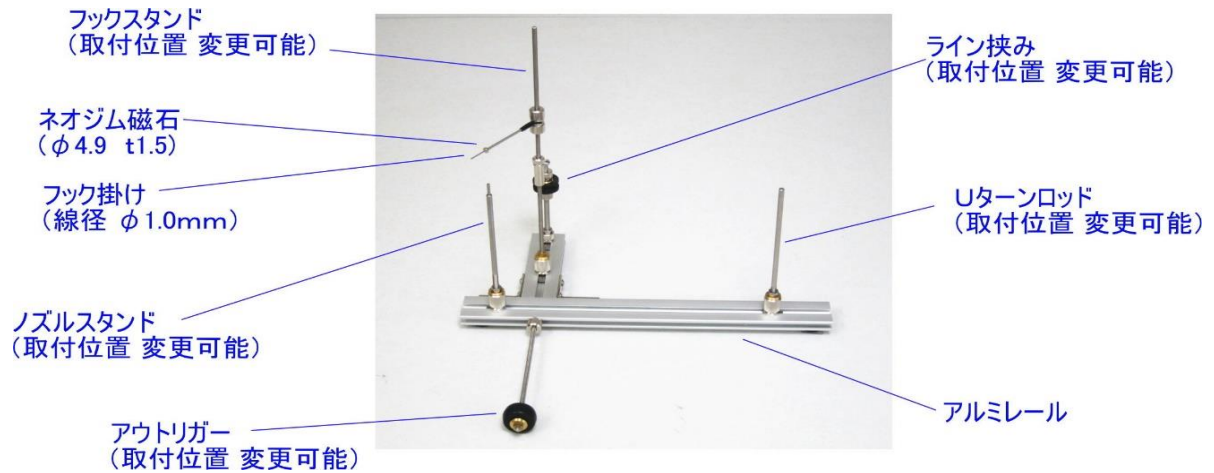
# handmadetool 無限仕掛 (カスタム万能タイプ)

## 取扱説明書

作業分類毎に手順や注意などを詳しく説明しています。参考にして頂いて、個人で一番やりやすい方法を見つけてください。対応する「ムービー編」をdompotimeのホームページで紹介しています。相互に見て頂くと解りやすいと思います。

### handmadetool無限仕掛(本体)

無限仕掛 カスタム万能タイプの本体装置の各部名称です。本体構成は基本機能で構成しています。魚種に応じて次ページ以降のオプションと組み合わせてお使いください。単体部品も販売していますので自由に好きなようにカスタムしていく事も可能です。



### 規格・仕様

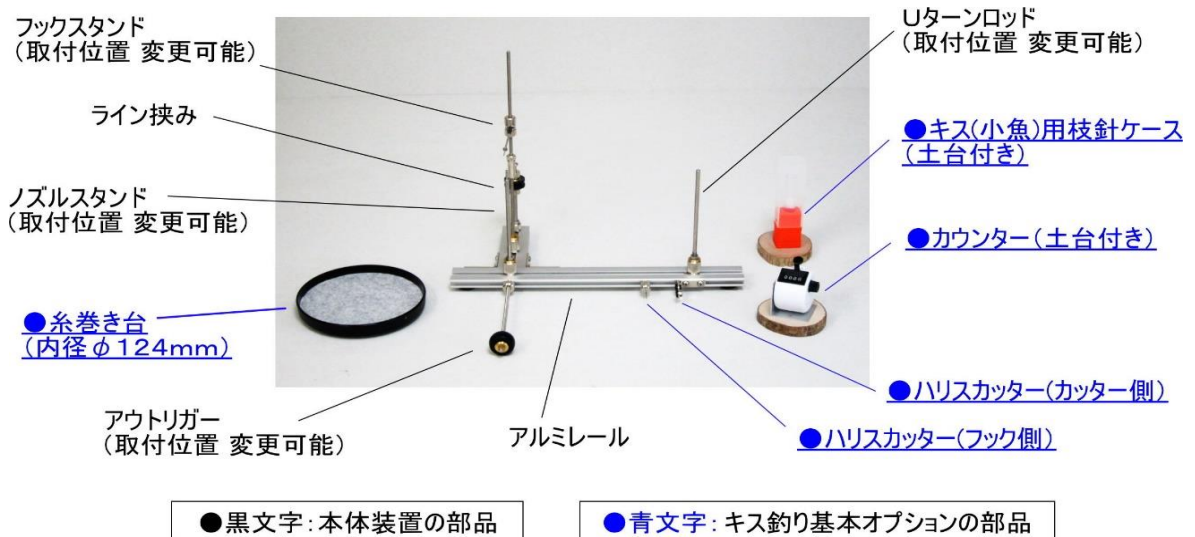
1	枝針間隔: 55mm~580mm
2	ハリス長: ~100mm(針長さ含み)
3	各部品はアルミレール上で自由な配列で移動可能です。

### 内容物の確認

1	取扱説明書(本書)
2	handmadetool無限仕掛(本体)

## 【キス(小魚)釣り 基本オプション】

キス(小魚)釣り仕掛け作りで、必ず必要となるものをフル装備したオプション構成です。初代キス専用タイプ(開拓番号006-①)での十分な経験値を活かした構成となっています。初代キス専用タイプと違う点は、さらに個人的なカスタムを思いついた際に対応しやすいのが最大の特徴です。また枝針間隔が極端に短い55mmまで可能となったことも大きな違いです。その他付帯装置も別置きになったため自由に配置出来ます。



### 規格・仕様

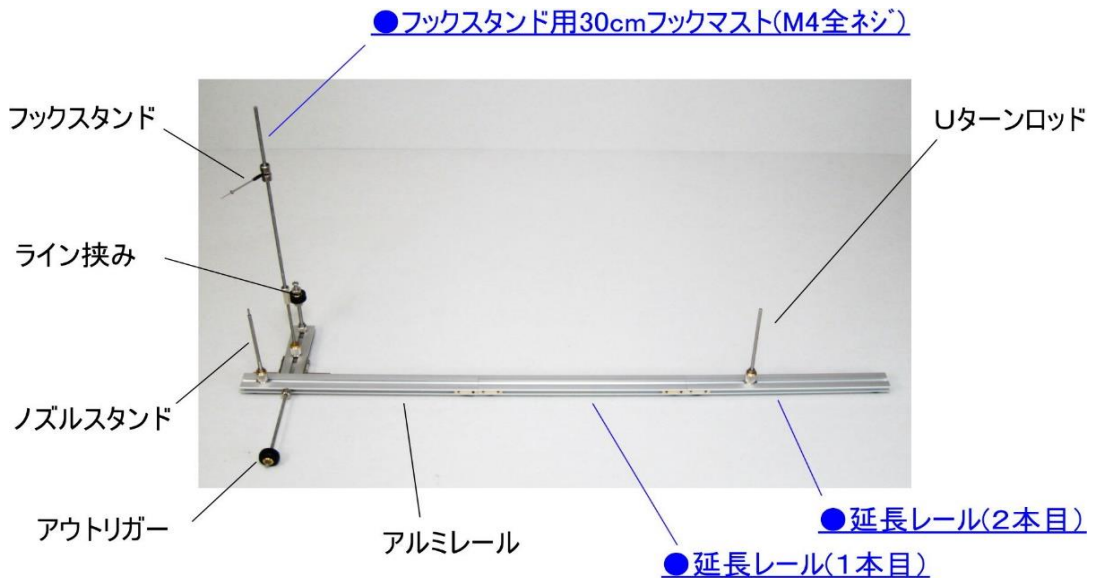
1	糸巻き台: 内径φ124mm
2	ハリスカッター: キス(小魚)仕掛け用です。
3	キス(小魚)用枝針ケース: 約100本程度 収納可能

### 内容物の確認

1	取扱説明書(本書)
2	ハリスカッター(カッター部、フック部)
3	糸巻き台(内径φ124)
4	カウンター(土台付き)
5	キス(小魚)用枝針ケース(ネオジム磁石埋込土台付き) ※枝針ケースは単体で別途追加購入できます。
6	枝針ケース用シール(1枚)

## 【喰わせサビキ 基本オプション】

「喰わせサビキ」の仕掛自作に必要な基本オプションです。喰わせサビキ仕掛は、幹糸6号～14号と極端に太く、エダスも4号～10号、枝針間隔も30cm～150cmと他の枝針仕掛けとは異質な太仕掛けになります。過去に何度もカスタム依頼を引き受けた経験値を活かし本体側で既に対応済ではありますが、オプションとして延長レールが必要となりますので基本オプションとして用意しました。



● 黒文字: 本体装置の部品

● 青文字: キス釣り基本オプションの部品

### 規格・仕様

1	枝針間隔: 55mm～1580mm ① 本体アルミレールで580mm ② 延長アルミレール1本追加で500mmUP(合計1080mm) ③ 延長アルミレール2本追加で1000mmUP(合計1580mm)
2	ハリス長: ～25mm(針長さ含み) (長い全ネジボルトに交換する事でハリスを長く作れます。)
3	編込長さ: 最大120mm(ノズル貫通長さ) (ハーフヒッチで編み込み補強するための長さです。)

### 内容物の確認

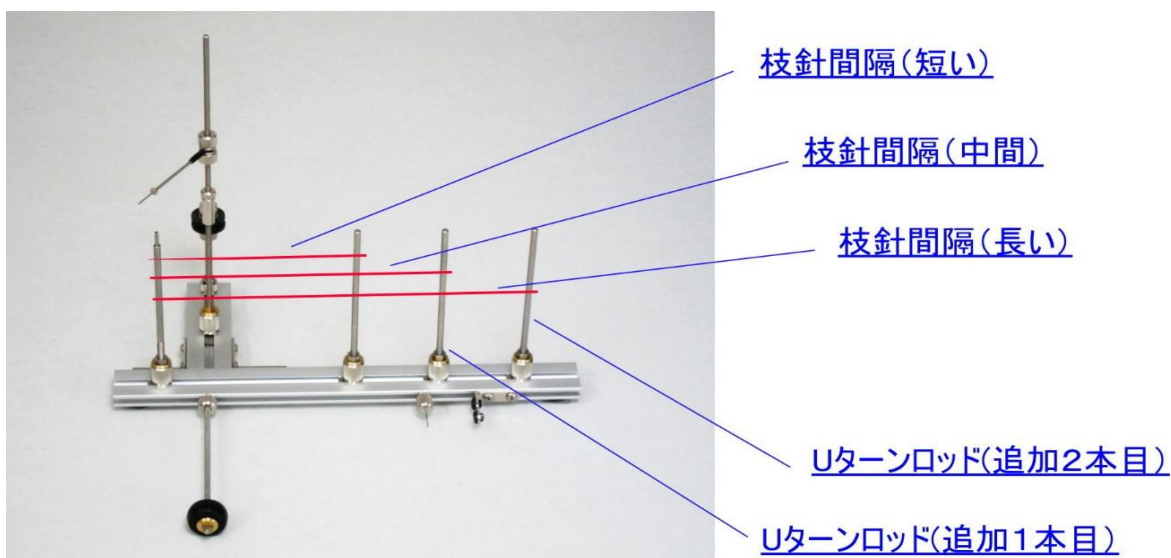
1	取扱説明書(本書)
2	延長レール 2本
3	フックスタンド用 30cmフックマスト(M4全ネジ)

## 【枝針間隔の可変カスタマイズ事例】

Uターンロッドの追加設置により、枝針間隔を可変するカスタマイズが可能ですので紹介します。具体的には、下写真のようにUターンロッドを2本追加すると、一連の仕掛けの中で3種類の枝針間隔を配列する事が出来ます。

用途は以下のような場合です。

- ①水底に近づくにつれ段々と枝針間隔を狭くしていきたい場合。
- ②枝針2本のセット(片方に生餌、もう片方に掛針など)を繰り返し作りたい場合。



### 内容物の確認

1	Uターンロッド単体 (必要本数)

## 【カスタム用 単品オプション】

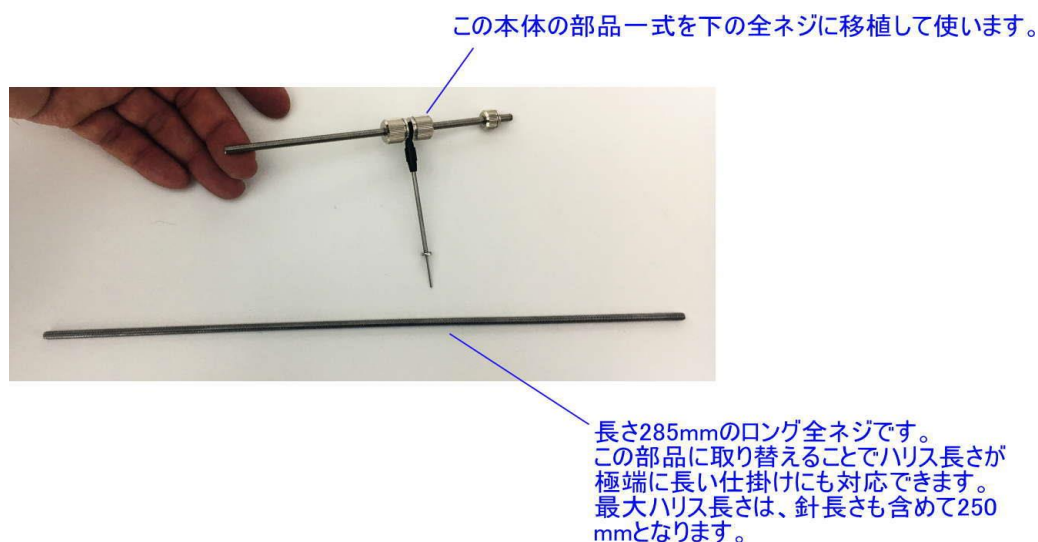
### ①延長レール単体

「喰わせサビキ」や「ワカサギ釣り」の段々仕掛けなどで必要となる場合がありますが、その他、地域的な特殊な釣り方や、個人的な特殊な仕掛け自作で、レール長さが必要となるカスタムをされる場合にご利用ください。



### ②延長フックマスト単体

本体装置の仕様では、ハリス長さは100mm以下の仕掛け自作となりますが、それ以上のハリス長さが必要な仕掛けでは、この延長フックマストを別途購入ください。単なる長い全ネジボルトですが最大250mmまでのハリス長さで作ることができます。ホームセンターでも全ネジボルトは購入できますのでどちらかからご購入ください。



### ③カウンター単体(土台付き)

キス釣りの無限仕掛けを自作する時には重宝します。枝針本数が多い場合にはカウンターがあるととても便利だと思います。



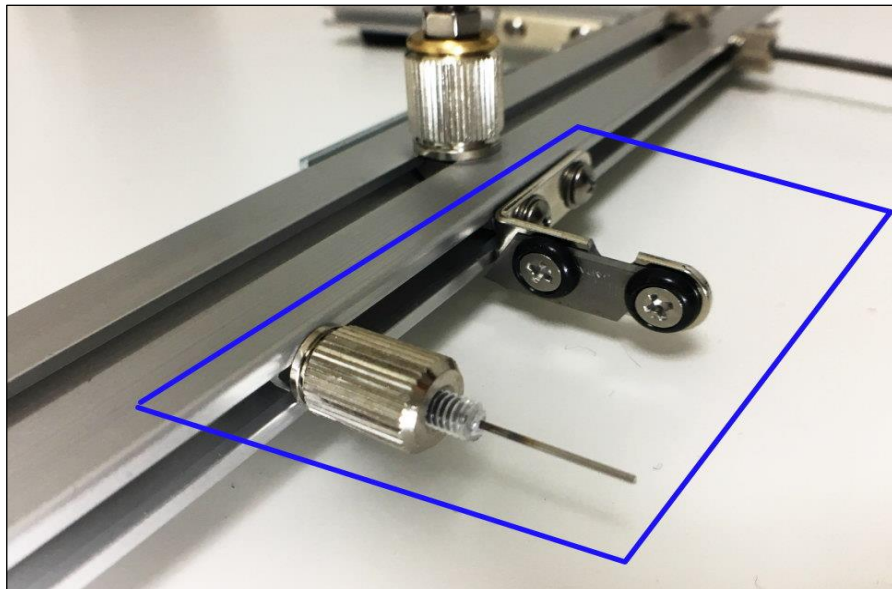
#### ④糸巻き台単体

糸巻きを置く土台(φ124mm)です。サイドの穴からラインを出す事により、背が高い糸巻きでも倒れません。底面にはフェルトを張っていますので音も静かに回りますので夜間でも気兼ねなく作業出来ます。ゴムや布は、作業上不適でフェルトが一番スムーズに回ります。



#### ⑤ハリスカッター単体

ハリスを等間隔に切断していく部品です。正確に長さを合わせて切断できます。計画的に長さを決めてやれば、漁師結びしたあとの結び目から出る余りのラインがなくなるため、切断する必要がなく、切断手間もなくなります。キス釣り仕掛けのようにカッターで切断できる程度のラインの太さであれば、とても便利なオプションです。



### ⑥Uターンロッド単体

枝針間隔を一つの仕掛けの中で可変させたい場合などに追加します。1本追加すると枝針間隔は1種類ずつ増えます。



### ⑦キス(小魚)用枝針ケースセット(ネオジム磁石埋込土台含み)

枝針ケースを置く土台です。ネオジム磁石が埋め込まれているのでケースが倒れて大惨事になる事を防いでくれます。



### ⑧キス(小魚)用枝針ケース単体

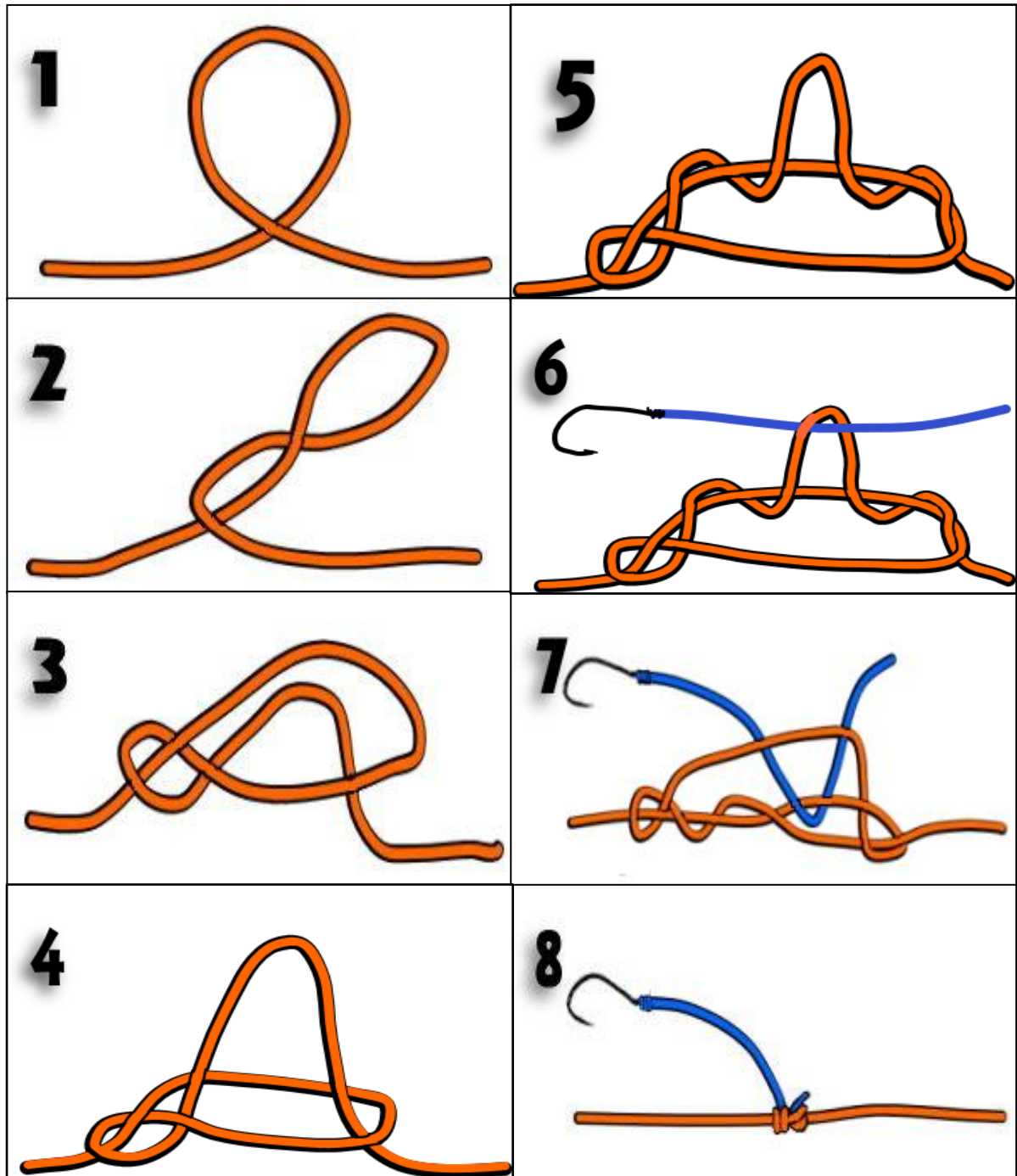
キス釣り用に設計されたものですが、キス釣りとは似通った仕掛けのサイズであれば効果絶大です。キス釣りの仕掛け作りでは絶対必要といっても過言ではありません。さらに複数個のケースがあれば、針の種類別や、ハリスの種類別に、ケース管理することも出来ます。



## stage0 (漁師結びを採用した設計)

この漁師結びはラインの途中でエダスを結べる画期的な結び方です。この結び方は、意外にも尺キスどころかスズキが掛かっても簡単には抜けません。handmadetool無限仕掛は、この漁師結びのしくみを土台にして作られたものです。まずはコレを覚える必要があります。

喰わせサビキなど、青物などの大型魚ではハーフヒッチでさらに編み込みするそうです。カスタム万能タイプでは編み込みするためのラインを結び目から残すためにノズルの貫通長さ12cmを確保しています。

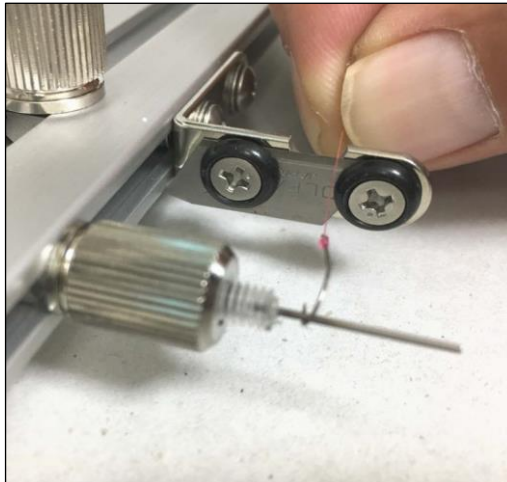


漁師結びはすぐに慣れます。慣れてくるとテレビを見ながらでも難なく作業可能です。dom potimeのホームページで、その快速快適な作業状況をムービーで紹介しています。是非ご覧ください。



## stage1 (初期設定:ハリス長さ、エダス間隔など)

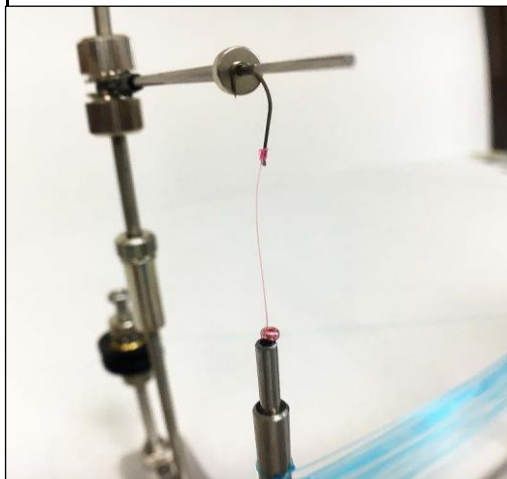
「枝針部品長さ」、「ハリス長さ」、「エダス間隔」の各種初期調整をします。



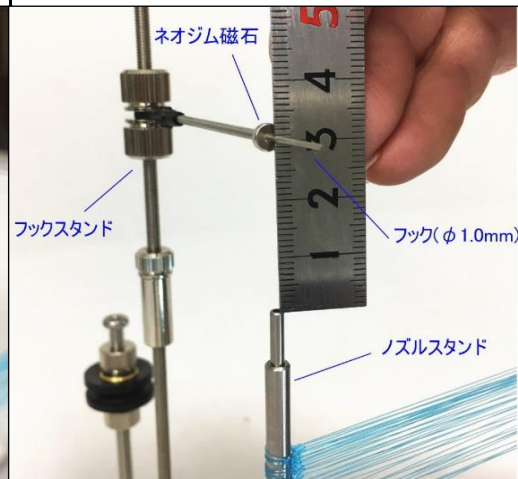
**1** 枝針部品のハリスを一定の長さにカットする治具の調整です。(オプション品)  
※刃は市販カッター刃を使用しています



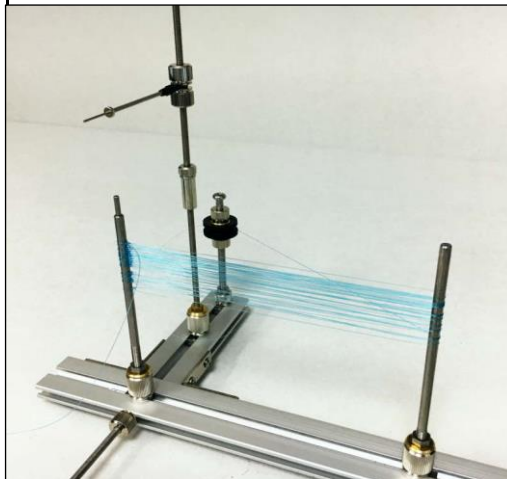
**2** ハリスカッターのフック側掛けのツマミを緩めて移動するとカッター刃との間隔が調整できます。



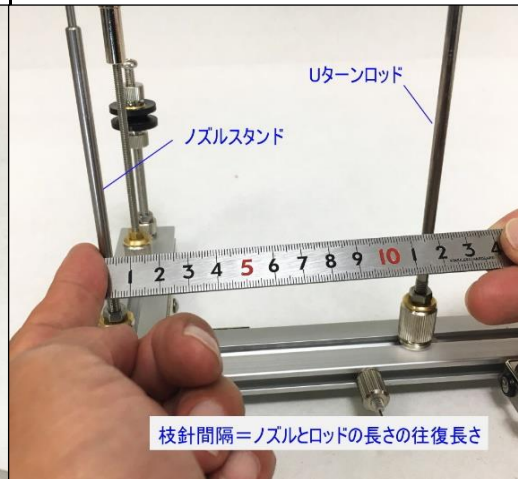
**3** 次に「ハリス長さ」を調整します。写真のように後ろの工程で針を掛ける部分の調整です。



**4** フック掛けを挟んでいる上下のネジを緩めて高さを調整します。



**5** 最後に「エダス間隔」を調整します。後の工程で写真のようにUターンロッドをラインが往復します。



**6** Uターンロッドの下部ツマミにてエダス間隔の約半分に調整します。ツマミは強く締めてください。

## stage2 (針結び→ハリスカット→枝針ケース収納)

枝針部品(ハリス付き針)の準備をします。オプションのハリスカッターを使った場合で説明します。ハリスを計画した長さに正確に切断できます。正確に切断できるため結び目からの余長が出ないように予め計画することで、結んだ後の切断手間も無くなります。

枝針部品を収納するキス(小魚)用枝針ケースもオプション品があります。また、カッター刃は取替は必要なさそうですが市販のカッター刃ですので取替は可能です。

	
<p><b>1</b> 針を結びます。ここでは針結び機を使用しています。</p>	<p><b>2</b> フック側に針を掛けて、カッター側のスリットにラインを落として切断します。</p>
	
<p><b>3</b> キス(小魚)用枝針ケースに収納します。あと工程でこのケースが活躍します。</p>	

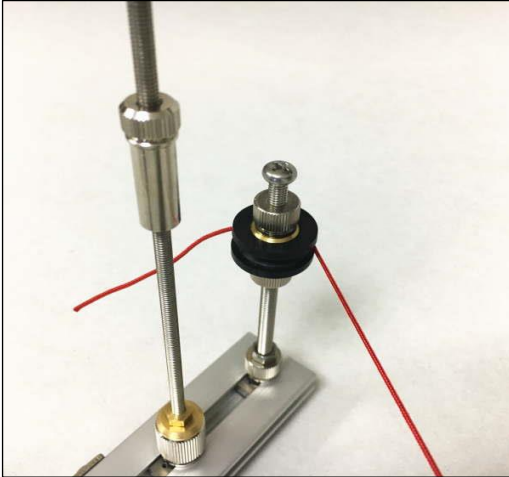
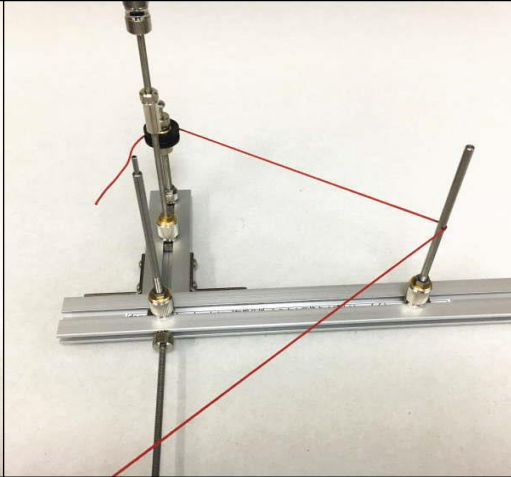
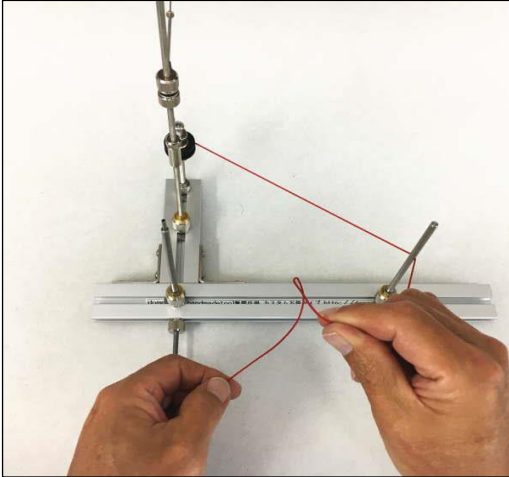
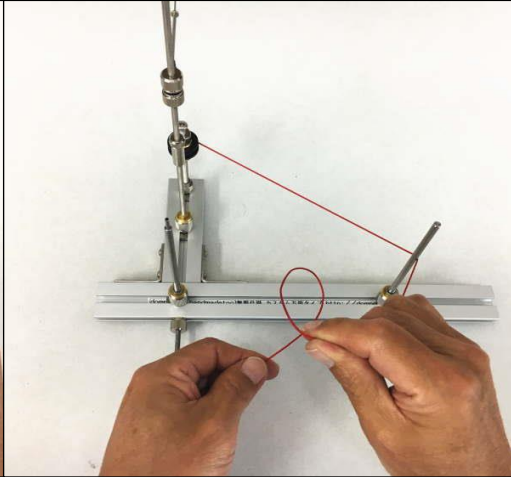
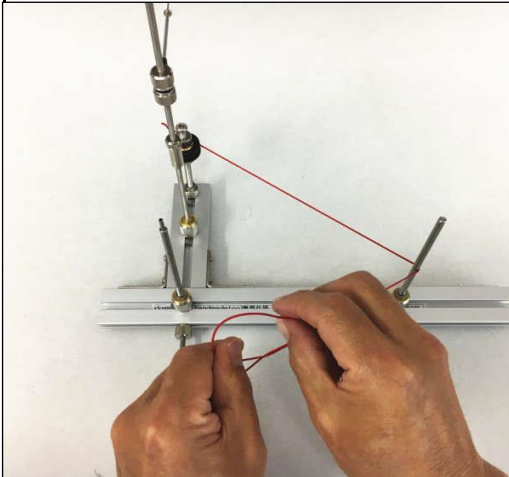
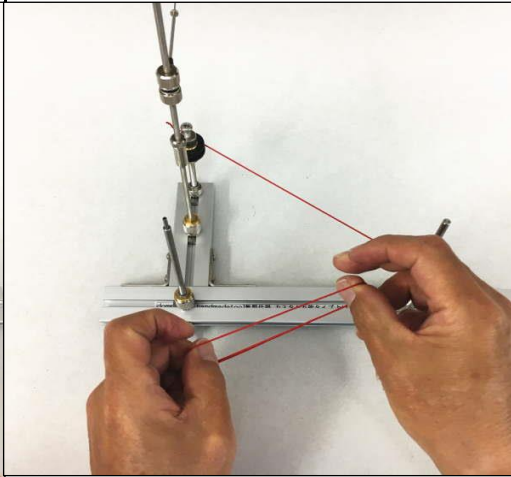
### stage3 (枝針ケースのしくみ)

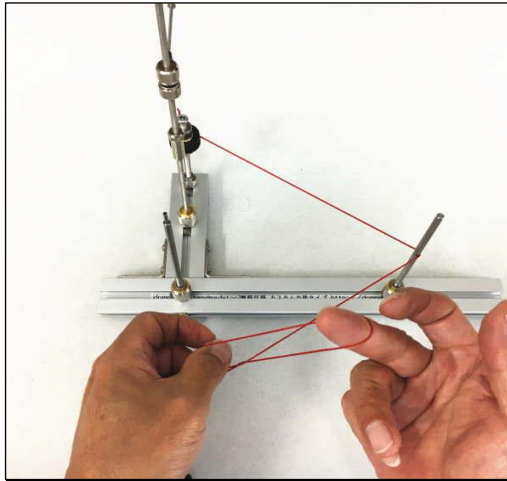
キス(小魚)用の枝針ケースです。ネオジム磁石により雑木輪切の土台に固定できます。ハリス長さに合わせてケース底を調整できます。収納本数は約100本程度入ります。剥がせるシールを貼って情報を書き込んでご使用ください。

	
<p><b>1</b> 枝針ケースの構成部品です。パイプの中には深さ調整用の円筒スポンジが入っています。</p>	<p><b>2</b> 円筒スポンジは鉛筆などで簡単に上下できます。</p>
	
<p><b>3</b> 枝針ケースは計画する仕掛タイプの種類に応じて必要な個数をご購入ください。</p>	<p><b>4</b> 収納状況です。逆さまにしても大丈夫です。剥がせるシールでラベルを貼ってお使いください。</p>
	
<p><b>5</b> 土台の裏側には磁石吸着用の鉄板が2枚付いています。</p>	<p><b>6</b> 枝針ケース台に埋め込んでいるネオジム磁石に立てて使います。倒れる心配がないので大惨事を防げます。</p>

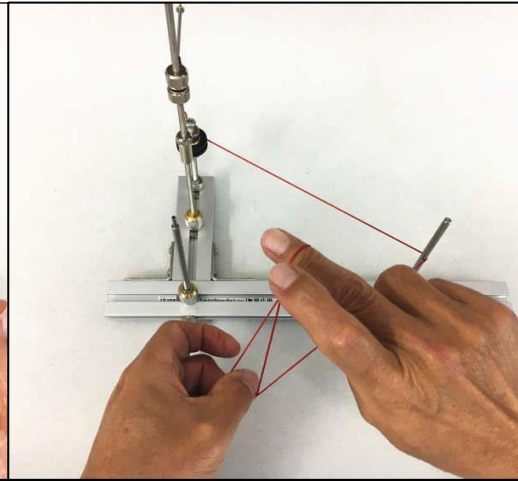
## stage4 (漁師結びで連続結び掛け)

漁師結びしたループをノズルに連続で掛けていきます。慣れると快速かつストレスなく作業できます。写真はラインが見えるように太い糸を使っています。実際の動きはdompoti.meのホームページにムービーがありますので是非みてください。

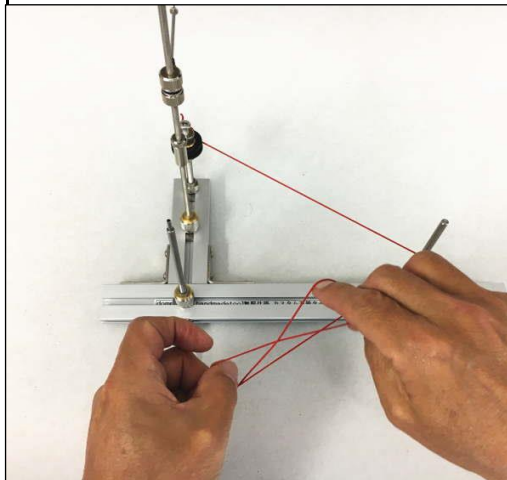
	
<p><b>1</b> まずはライン挟みにラインを挟んでスタートになります。</p>	<p><b>2</b> Uターンロッドに掛けて折り返してきます。往復の長さがエダス間隔になります。</p>
	
<p><b>3</b> ココからは漁師結びの手順に沿ってラインを編みます。<u>(ここからの作業を編み棒を使って行うことも出来ます。)</u></p>	<p><b>4</b> 輪を形成したら、輪のクロス部分を親指で押さえます。</p>
	
<p><b>5</b> 輪に右手の指を入れていきます。</p>	<p><b>6</b> ラインを引き出して輪を大きく広げます。</p>



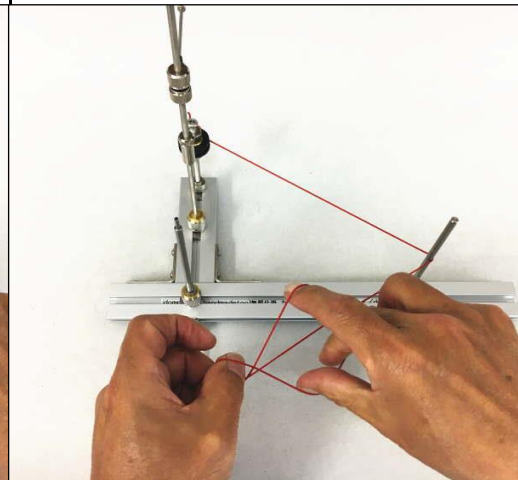
7 手首を返して輪を捻っていきます。



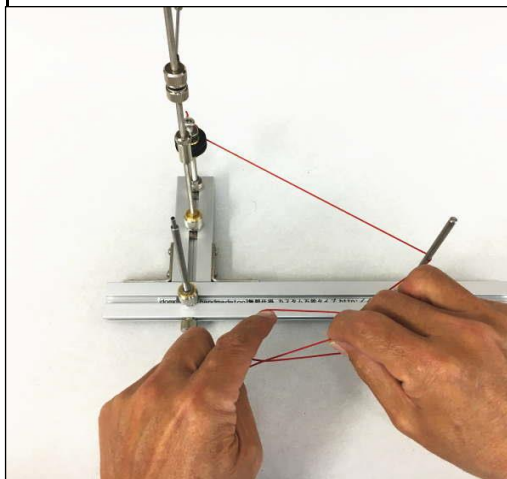
8 さらに手首を返して輪を捻っていきます。



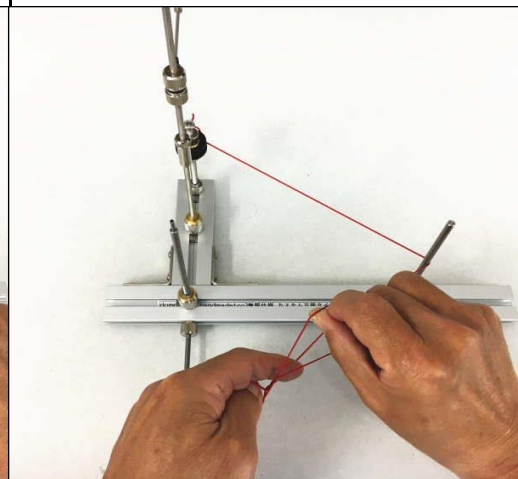
9 ひっくり返された輪です。



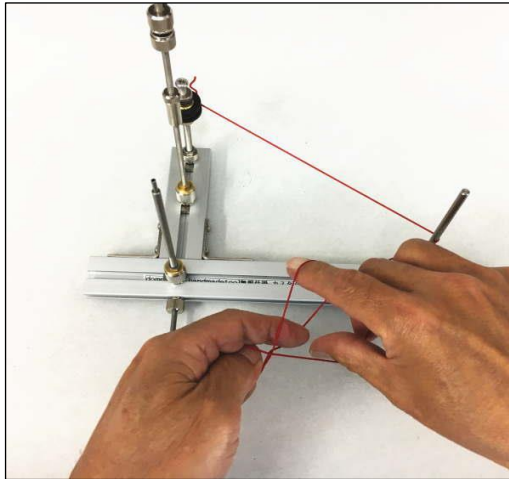
10 ひっくり返した輪の中から中指でラインを取りにいきます。



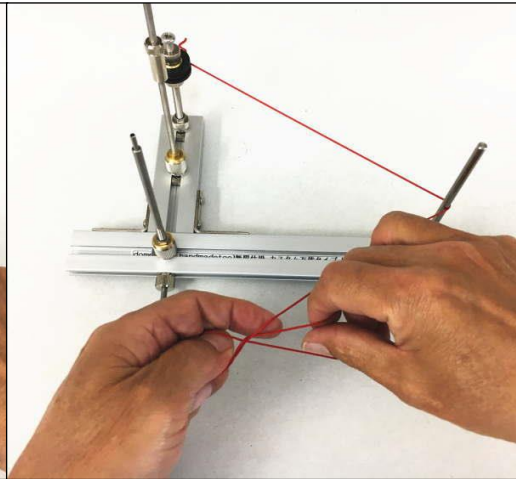
11 輪の中からラインを摘まみます。



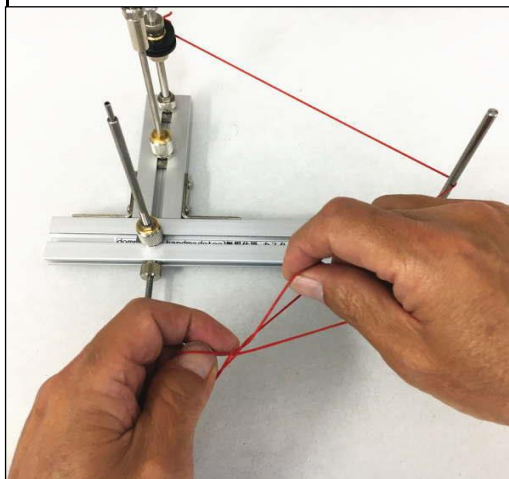
12 ラインを摘まみ上げておいて人差し指をもう一回潜らせようとしています。



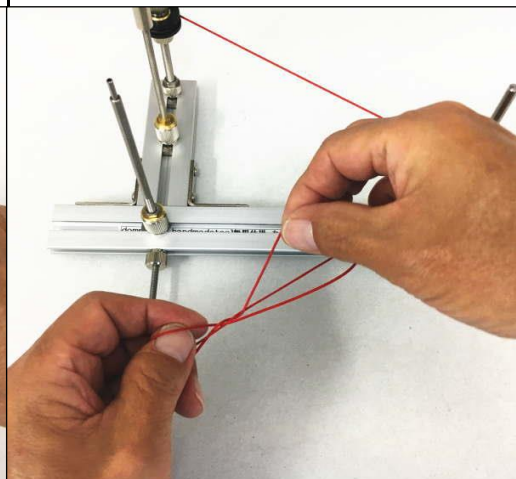
13 もう一回、輪の中からラインを摘まみにいこうとしています。



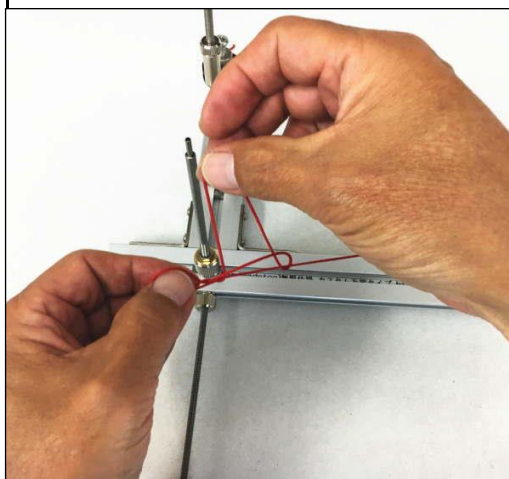
14 最後に摘まむべきラインを摘んだ状態です。



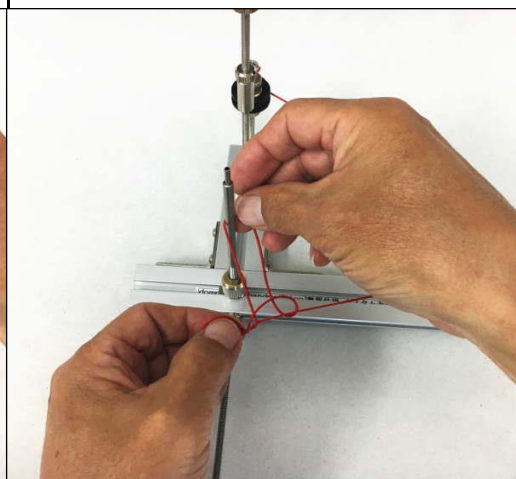
15 奥のラインを摘んだまま引き上げようとしています。



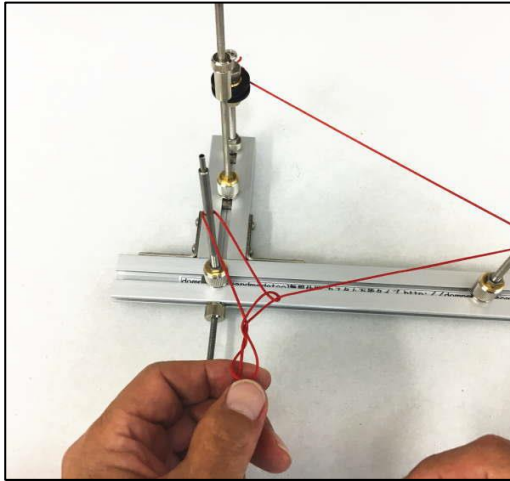
16 ラインを摘みあげます。



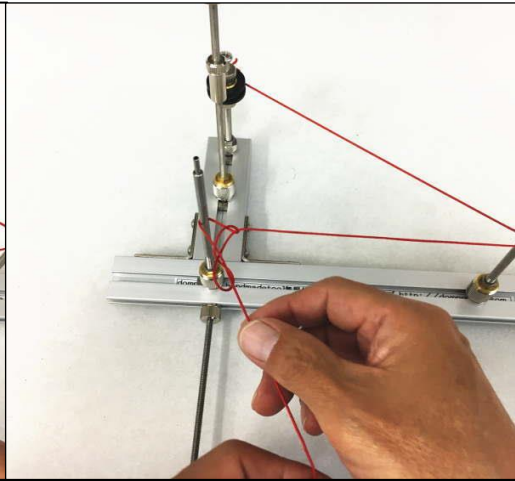
17 さらにラインを引き出してノズルへ運びます。



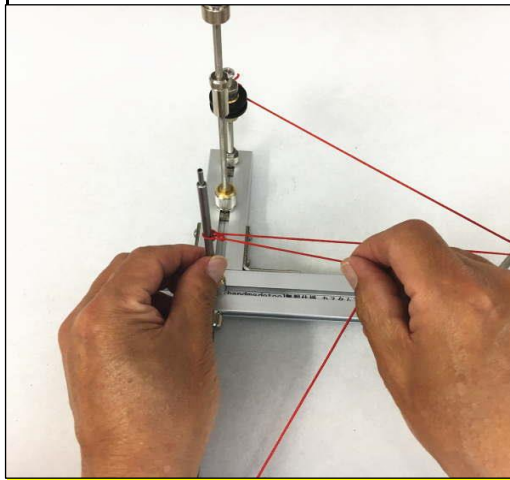
18 漁師結びのハリスを通す部分をノズルに掛けます。(ここまでの作業を編み棒を使って行うことも出来ます。)



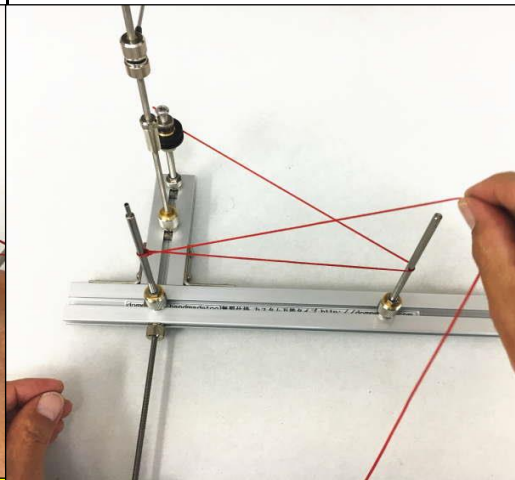
**19** ラインを丁寧に引いて軽く締めていきます。



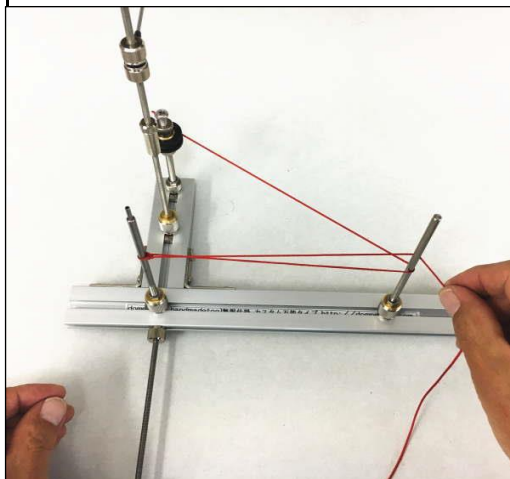
**20** さらに結び目を丁寧に絞っていきます。



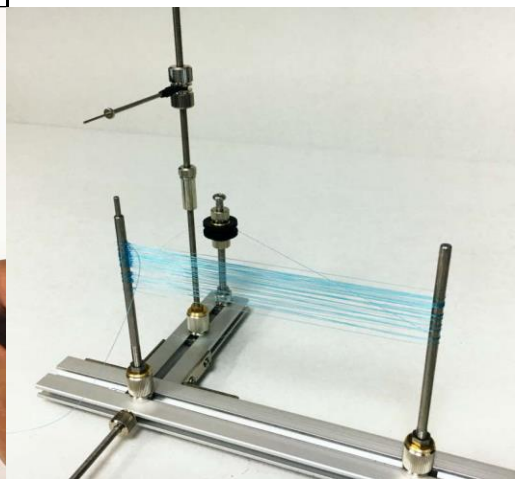
**21** 結び目を絞り切った状態です。



**22** ラインを引き出してUターンロッドに直に誘導していきます。そうすることでライン張力による締め付けが起こりません。



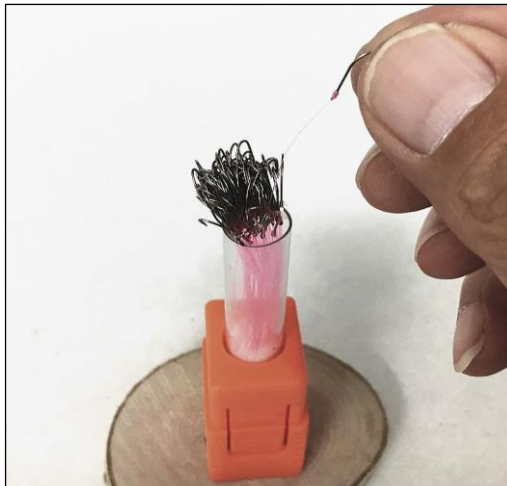
**23** 再びラインがUターンロッドをターンしました。これを繰り返して「漁師結び」で掛けます。



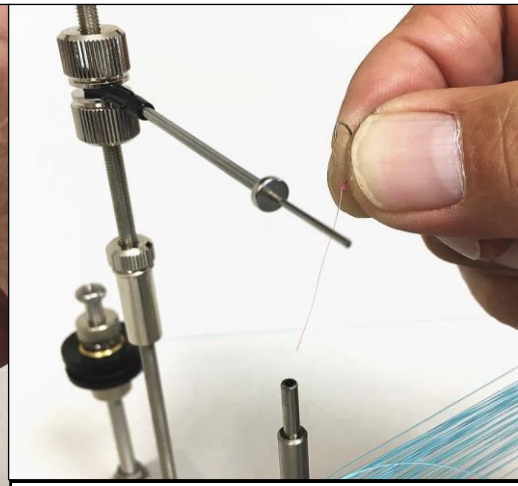
**24** 実際にはこのような感じになります。これで50本くらいの無限仕掛になります。

## stage5 (枝針結び付け & 同時仕掛巻き取り)

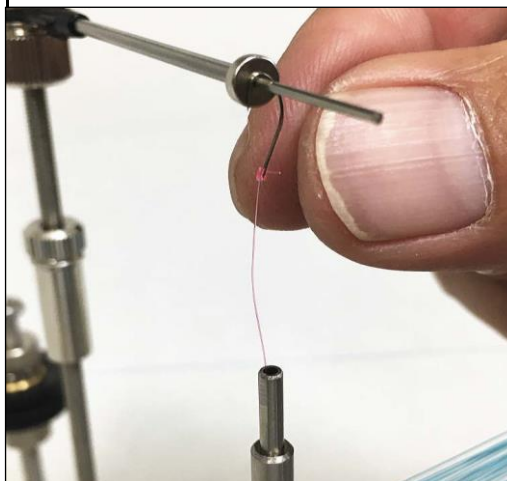
最後の作業です。枝針を結び付けていきます。・・・と同時に仕掛巻きに巻いていきます。無限仕掛を作る場合は、この同時に仕掛巻きに巻いていく作業がポイントになります。



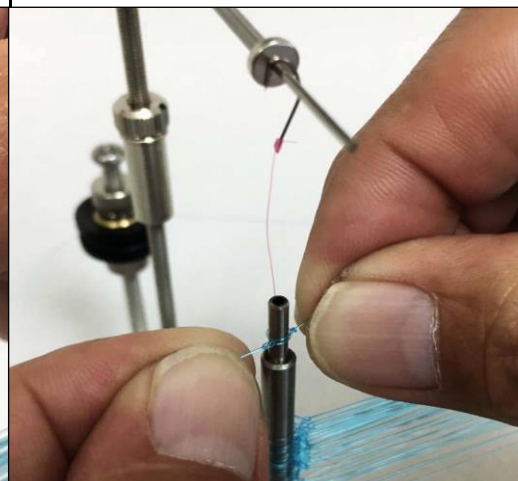
**1** 枝針ケースから枝針部品を抜き取ります。(オプション品です)



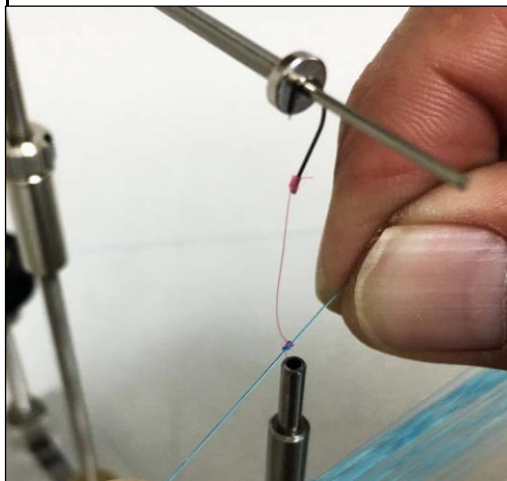
**2** ノズルに枝針部品のハリスを差し込みます。



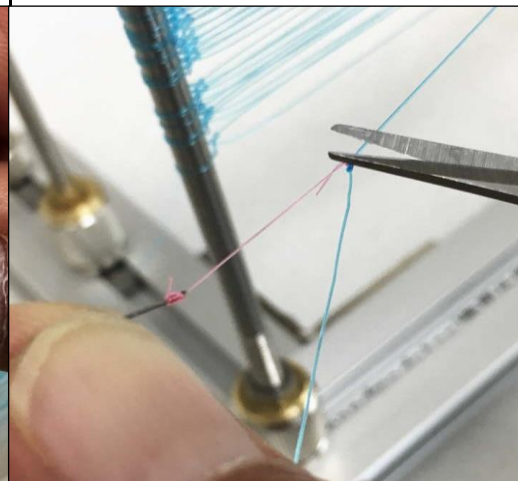
**3** 針をフック掛けに掛けます。ネオジム磁石を付けていますのでピタッと付きます。



**4** 漁師結びを細いノズルまで一旦引き上げて一方向に絞っておきます。正確な枝針間隔になります。

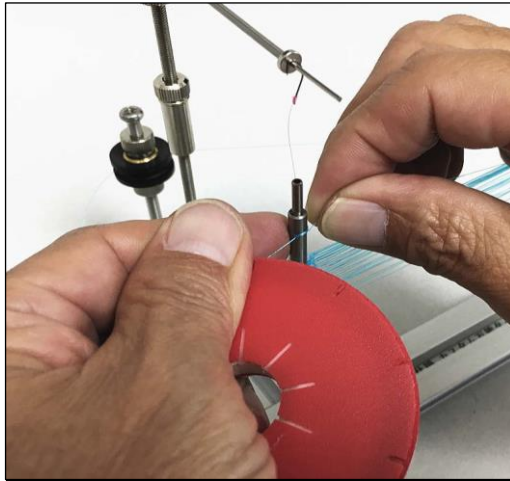


**5** ノズルの頂部で、クキッという感触まで締め込みます。結び目に事前にスポイドで水を付けて摩擦熱を防ぐ人もいます。

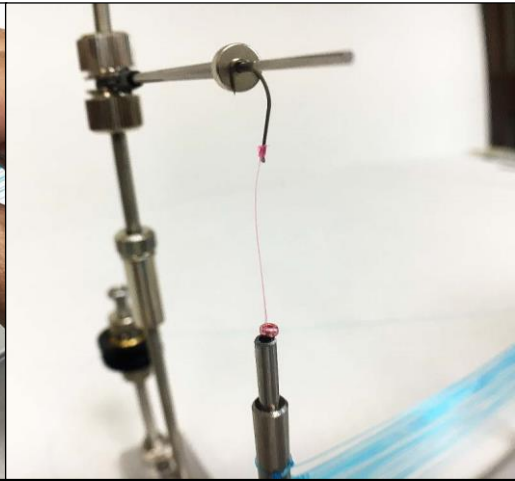


**6** ラインを切って出来上がりですが、ハリスカッターで予め長さを合わせていればこの作業は不要です。





7 以上の繰り返しですが、無限仕掛の場合は仕掛巻に巻きながら作っていく必要があります。



8 ビーズを枝針部品のハリスに通してからノズルに差し込むだけです。



9 ほとんどの市販ビーズ径よりもノズル径(φ1.5mm)が小さいため落ち込みません。

枝針の結び付けは、個人差があっっているような方法があるように思います。dompotimeのホームページにムービーがあります。参考にして頂きながら工夫されてください。

この新型のカスタム万能タイプは、カスタム性に優れていますので、個人の目的に合わせて自由にカスタムください。またdompotimeでもカスタム依頼は受け付けていますので、ご要望があれば、ホームページの問合せボタンからお問い合わせください。

## 取扱注意事項

- ①漁師結びをノズルに掛けた後は、ラインをノズルの外側を回さずに直接にUターンロッドにターンさせてください。そうする事によりラインを回して重ねていく毎にノズルとロッドの間隔がラインによって締め付けられる事が起こりません。
- ③可動ロッドの固定ツマミはしっかり固定し傾斜を避けてください。
- ④可動ロッドを傾斜したままの使用はライン張力が発生しロッドやノズルを曲げてしまうことが考えられます。
- ⑤ハリスカッター刃は露出しています。必ずカバーして保管ください。
- ⑥子供やペットなど、手が届かないところに保管ください。

お買い上げありがとうございます。ご購入して頂いた代金は、次の何かを具現化するための軍資金として大事に大事に使わせて頂きます。

dompotime

<http://www.dompotime.com>

